



中国地域レフェリーアカデミー4期生(岡山県) 廣末存果

参加審判員のテーマ

「**Player's Management のための表現力を高める**」

自分自身のテーマ

「**判定基準の確立，サッカーについて理解を深める**」

1. 参加審判員およびインストラクター

1 級審判員:6 名(大藤氏) 女子 1 級:1 名 2 級強化審判員:11 名(土岩氏, 市川氏)

RAC:17 名(藤本氏, 廣末) U22:16 名(植木氏, 小滝氏)

インストラクター:15 名(江角氏, 山西氏) JFA マネージャー:1 名

2. 事前研修

7/12 大会概要, 事務連絡など

7/19 ・FK マネジメントについて(木村氏)

映像を用いてディスカッションを行いました。

遅延行為への気づき, イニシアティブをとれる位置をとること, 笛や声の活用を行うことでFK マネジメントでレフェリーの技術が発揮されることを学びました。

・納得させる判定をするには?(羽矢氏)

レフェリーをするうえで日ごろから意識していることをディスカッションし, 大会への望み方を話し合いました。

事前研修のグループ:佐藤氏(東北 RAC), 佐々木氏(関東 RAC), 森下氏(関西 U22)

山崎氏(関東 U22), 上川氏(JFA), 廣末

3. レフェリングについて

7/23 グループステージ第 1 節 徳島ヴォルティス VS セレッソ大阪

R:佐藤宥(東北) **A1:廣末存果** A2:中島省吾(関東)4th:橋本文明(関東) INS:遠山昭仁氏

大会初日は A1 を担当させていただきました。

よかった点…フラッグアップのタイミング

改善点 …R から見えない部分 (特に手のファウル) のサポート

その他 …インストラクターからは, 選手の力を最大限に引き出せるようなレフェリングを心がけるようにと伝えられました。

1日目振り返りミーティング

ミーティングでは、4シーンを見てグループディスカッションを行いました。私のグループではオフサイドの守備側競技者への影響をRとARでどのような打ち合わせで判断するのかという事象でした。フラッグアップのタイミングや打ち合わせで正しい判定に導くためにどうしたらよかったのかを話し合いました。

7/24 グループステージ第2節 横浜FCVS セレッソ大阪

R:廣末存果 A1:渡邊恵太(東海)A2:礪波壮一郎(北信越)4th:水野航(関東) INS:正木修一氏
大会2日目はレフェリーを担当させていただきました。

よかった点…判定基準が一貫している

改善点 …ポジション取りの部分で巻き込まれることが多かった

その他 …得点時のマネジメントの手順を自分で確立したほうが良い

2日目振り返りミーティング

ミーティングでは改正についてと表現力について全体でディスカッションを行いました。競技規則改正で変更になったシーンが起き、そのシーンについて理解を深めました。またJリーグ担当のレフェリーのコミュニケーションの取り方を見てどのような印象を持つのか、選手を納得させるためにどう演じるのかを話し合いました。



7/25 休日

休日のため試合はありませんでした。Zoomを使用しミーティングがありましたが割り当ての発表のみでした。

7/26 グループステージ第3節 京都サンガFCVS 鹿島アントラーズ

R: 渡邊恵太(東海)A1:廣末存果 A2:御手洗優斗(北信越)4th:田村陸(関東) INS:正木修一氏
大会3日目はA1を担当させていただきました。

よかった点…オフサイドの判定

改善点 …ベンチからの声に対するマネジメント

その他 …GS 最終節で両チームの勝敗が突破にどう影響するのかを情報として入れ、ベンチや選手のリアクションに対応する

4日目振り返りミーティング

3シーンを取り上げ、ディスカッションを行いました。特に得点時に審判団がファウルを見逃した時のベンチへの対応、どのようにマネジメントを行うのかについて深く議論しました。この日は2級強化、U22の審判員の帰宅日であったため RAC 生をみの最後の振り返りでした。泉 JFA マネージャーからは

「1級になれなくてもサッカーをずっと好きでいてほしい」

とのメッセージをいただきました。

7/27 ノックアウトステージ・ラウンド 16 大分トリニータ VS 北海道コンサドーレ札幌

R:廣末存果 A1:田邊裕樹(日本)A2:清水祐貴(北信越)4th:近藤辰(関東) INS:二俣敏明氏

大会4日目は現役1級である田邊氏に AR に入ってもらい、レフェリーを担当させていただきました。

よかった点…判定基準については一貫している。注意の方法(本部側に番号がわかるようなパブリックな注意)

改善点 …ポジショニングで先に DF ラインに入って FW, DF の邪魔にならないようなポジションをとる。勝っているチームの遅延行為についての線引き

その他 …現役1級である田邊氏に AR に入ってもらい、選手への声掛け、ベンチ対応など勉強になることばかりで見習い自分のものにしていきたいと感じました。



4. 大会を通じて

普段は経験できないようなレベルの高いチーム同士の試合で、なかなか試合にフィットすることが難しく選手の邪魔になることが何度もあり自分の課題だと認識しました。また今大会のテーマである「マネジメント」の部分では、声、笛、シグナルなどを用いてどのようにしたら選手が納得してくれるのかを常に考えチャレンジすることができました。気づきを増やし、自分自身の引き出しを増やせたように思えます。他地域の審判員と話す中で様々な判定への考えを知ることができ、考えを深めることができました。

5. 大会中の思い出

3月に派遣いただいた TRAUMCUP に参加したメンバー数名と再会でき、懐かしく成長を聞き全国のライバルに負けていられないなと感じました。

大会1日目の夜にJ2のザスパクサツ群馬 VS ジュビロ磐田の試合を土岩、市川、藤本、廣末の4人で見に行きました。たまたまレフェリーが松本大さんでした。久しぶりにお会いし成長を伝えることができよかったです。

6. 謝辞

最後になりましたが、このような素晴らしい大会に推薦していただきました宮部マスターをはじめとする中国 RAC インストラクターの皆様、岡山、中国の審判委員会の皆様この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。この大会で得た経験を地域に還元し、より逞しいレフェリーになれるよう日々研鑽してまいります。



第47回日本クラブ ユース選手権 (U18)

中国レフェリーアカデミー藤本歩

テーマ「Player's Managementのための表現力を高める」



参加審判員およびインストラクター

1級審判員6名（大藤氏） 女子1級1名

2級審判員11名（土岩氏、市川氏）

RAC17名（藤本、廣末氏）

U22 16名（植木氏、小滝氏）

インストラクター15名（江角氏、山西氏）

JFAマネージャー

割り当て

湘南ベルマーレU18 VS JFA福島アカデミー
(副審1)

JFA福島アカデミー VS ベガルタ仙台U18
(主審)

横浜FC U18 VS 徳島ヴォルティスU18
(主審)

横浜FC U18 VS 横浜FマリノスU18
(副審2)



レフェリングの振り返り

良かった点

- ・選手に対する注意の仕方、注意する場所
- ・スプリントのタイミング
- ・シグナルの角度、長さ

反省点

- ・注意の時の笛の鳴らし方
- ・試合中のボールの予測
- ・喜怒哀楽の表し方
- ・チームスタッフと会話するときの体の向き



大会を通じて

各地域のサッカーレベル、審判員のレベルの違いや1級審判員を目指す熱量などに刺激を受けました。

以前の研修に参加していた審判員との意見交換や幅広い年代の審判員との意見交換ができ新たなサッカーやレフェリングの技術などを学ぶことができました。
沢山の研修に参加し、もっと上のレベルに行きたいと思いました。



最後に

このような素晴らしい大会に推薦して頂いた宮部マスターをはじめとする中国RACインストラクターの皆様、山口県、中国サッカー協会の皆様ありがとうございました。
この経験を生かして、レフェリーとしての技術の向上、審判員としての人間性の向上ををしていきたいと思えます。
未熟な私ですが今後ともよろしくお願いたします。

